

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2026年12月期 第2四半期決算-



2026年8月6日
東京応化工業株式会社

- 1. 2026年12月期第2四半期 サマリー p.2
- 2. 2026年12月期第2四半期 業績 p.3
- 3. 2026年12月期 業績予想 p.7
- 4. 企業価値向上に向けた成長戦略 p.15
- 5. Appendix p.23

2026年12月期 第2四半期 サマリー

2

2026年12月期 第2四半期実績

- 売上高は、前年同期比280億円（+25.1%）増収の1,396億円。
データセンター向けAIサーバーの需要拡大により、
エレクトロニクス機能材料・高純度化学薬品ともに大幅な増収。
- 営業利益は、前年同期比90億円（+45.4%）増益の288億円。
売上高の増加や為替効果により大幅な増益。

2026年12月期 業績予想

- 業績予想の上方修正を実施（2026年7月30日）
- 前提条件
下期想定為替レートを変更 150.0円/ドル（2026/12）⇒155.0円/ドル（2026/12下期）
- 足元の市況や当社製品の採用状況により、前年度より大幅な増収増益を予想。
売上高2,910億円（+22.8%）、営業利益606億円（+27.9%）。
3期連続で過去最高を更新する見込み。
通期業績の営業利益とEBITDAは、tok中期計画2027の目標数値を上回る見込み。

株主還元

- 純資産配当率（DOE）4.0%を目途とする配当方針のもと、
中間配当 40円、年間配当 80円を予想。
- 9期連続の増配予想を堅持。

(百万円、%)						
	2025/6	2026/6	増減	増減率(%)	上期計画	進捗率(%)
売上高	111,623	139,668	+28,045	+25.1	125,000	111.7
エレクトロニクス機能材料	58,149	74,155	+16,005	+27.5	66,800	111.0
高純度化学薬品	51,985	63,008	+11,023	+21.2	55,900	112.7
その他	1,488	2,504	+1,016	+68.3	2,300	108.9
営業利益	19,846	28,854	+9,007	+45.4	24,300	118.7
経常利益	20,381	30,272	+9,890	+48.5	25,500	118.7
親会社株主に 帰属する中間純利益	13,619	20,409	+6,789	+49.9	16,000	127.6
EBITDA	23,994	34,308	+10,314	+43.0	29,800	115.1

期中平均為替（USドル）： 147.0円／ドル（2025/6）⇒ 157.4円／ドル（2026/6）

- 売上高：データセンター向けAIサーバーの需要拡大により、前年同期比+25.1%の増収。
- 営業利益：経費の増加があったものの、増収および為替効果により前年同期比+45.4%の増益。
- 中間純利益：営業利益の増加により、前年同期比+49.9%の増益。

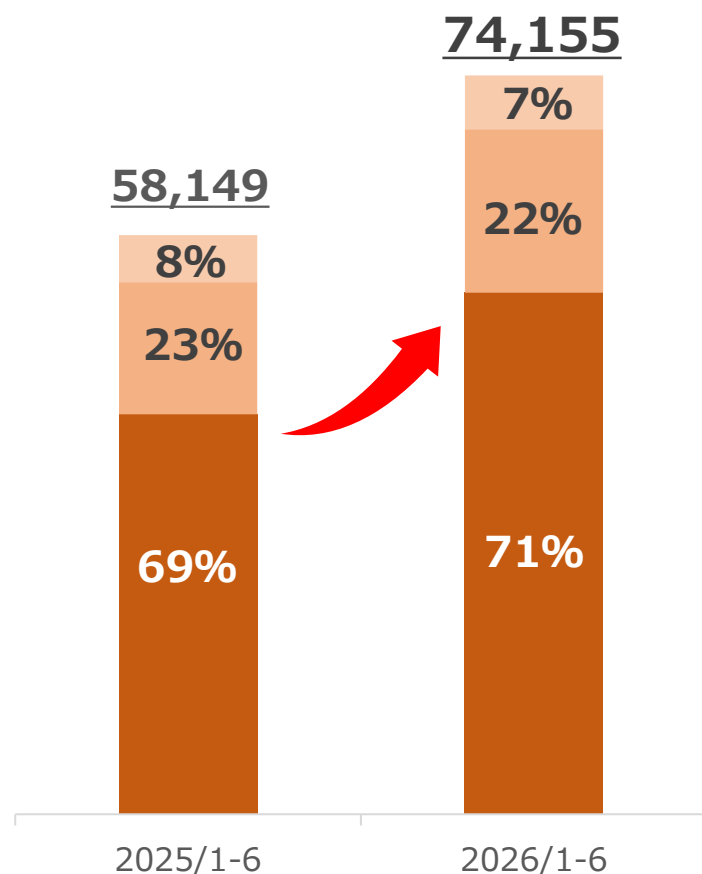
エレクトロニクス機能材料の種類別売上

4

売上高 (百万円)

上期YoY +27.5%

増減率 (前年同期比)



■ 半導体前工程用フォトレジスト +30%

先端材料 (EUV・ArFレジスト) +35%

KrFレジスト +30%

レガシー材料 (g線・i線レジスト) +15%

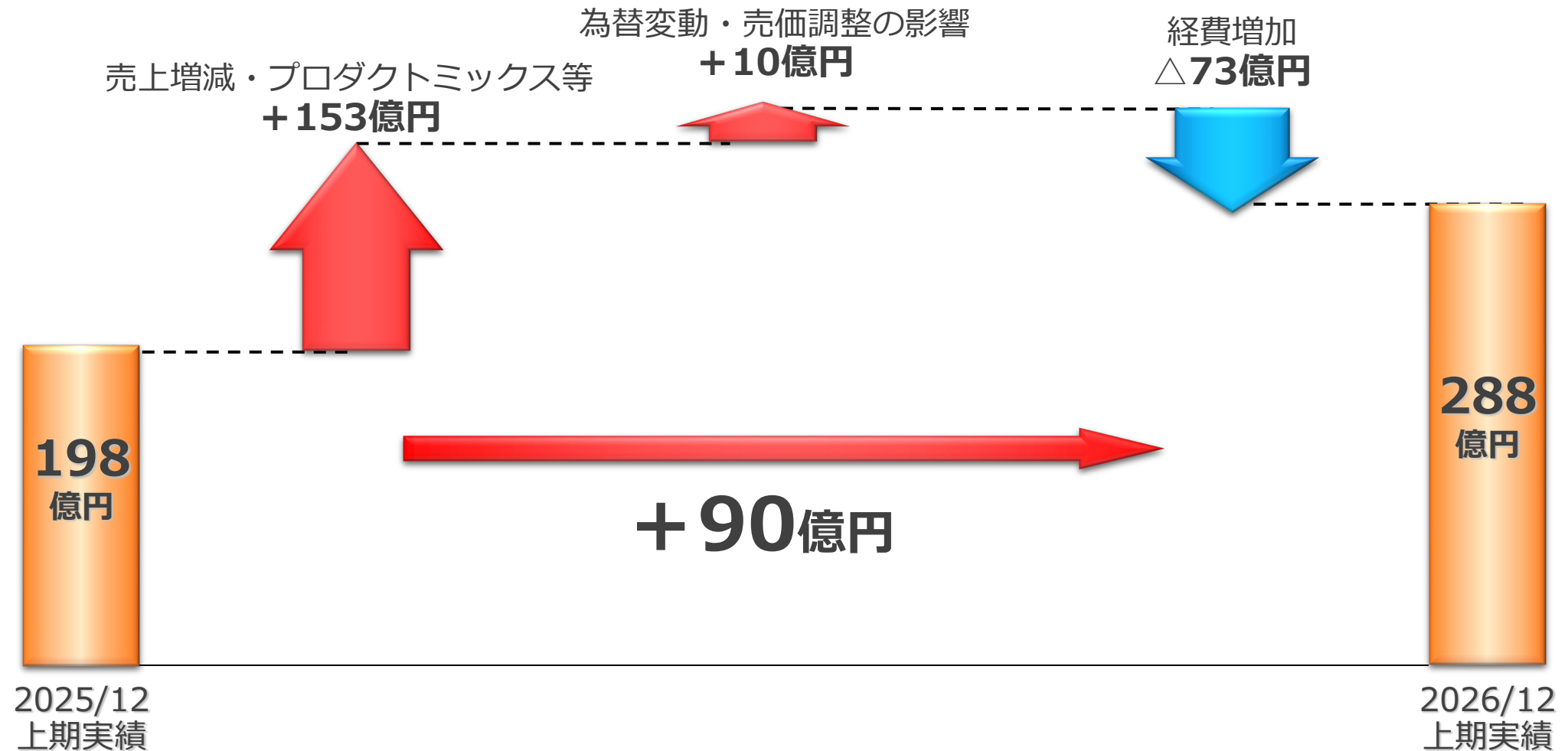
■ 半導体後工程関連材料 +25%
(パッケージ材料・MEMS材料・WHS材料)

■ ディ스플레이材料・その他 +15%

営業利益の増減内訳

5

2025年12月期上期実績 対 2026年12月期上期実績



営業外損益・特別損益

6

(百万円)

	2025/6	2026/6	増減
営業外損益	+535	+1,418	+882
受取利息・配当金	+563	+611	+47
持分法による投資損益	+151	+265	+113
為替に係る差損益	△463	△100	+362
為替差損益	△167	△161	+6
デリバティブ評価損益	△295	+60	+356
助成金収入	+396	+535	+138
特別損益	+1,379	+1,256	△122
固定資産売却益	+9	+357	+347
投資有価証券売却益	—	+945	+945
条件付対価受入益	+1,422	—	△1,422
固定資産除却損	△53	△45	+7

2026年12月期 業績予想

業績予想概要（通期）

(百万円、%)

	2025/12	2026/12	増減	増減率(%)	期初計画	期初計画比(%)
売上高	237,029	291,000	+53,970	+22.8	261,000	+11.5
エレクトロニクス機能材料	124,700	155,000	+30,299	+24.3	140,000	+10.7
高純度化学薬品	109,400	131,000	+21,599	+19.7	116,000	+12.9
その他	2,928	5,000	+2,071	+70.7	5,000	-
営業利益	47,386	60,600	+13,213	+27.9	52,200	+16.1
経常利益	49,274	63,000	+13,725	+27.9	53,800	+17.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	33,345	42,600	+9,254	+27.8	35,000	+21.7
EBITDA	56,194	72,200	+16,005	+28.5	63,500	+13.7
ROE	15.6	17.3	+1.7	-	14.5	+2.8

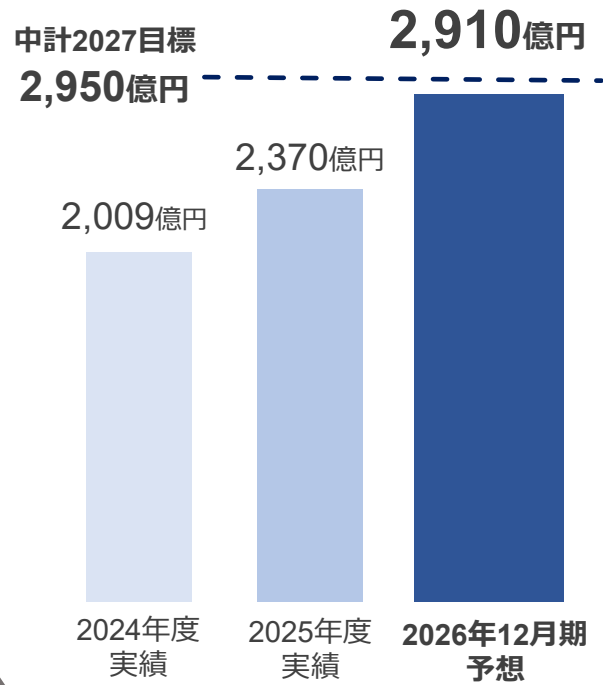
期中平均為替（USドル）：148.6円／ドル（2025/12）⇒ 155.0円／ドル（2026/12）

- 売上高：生成AI関連の需要増加等により、前年比+22.8%を予想。
- 営業利益：固定費や原材料費の増加があるものの売上高の増加等により、前年比+27.9%の増益を予想。
- 当期純利益：営業利益の増加により、前年比+27.8%の増益を予想。

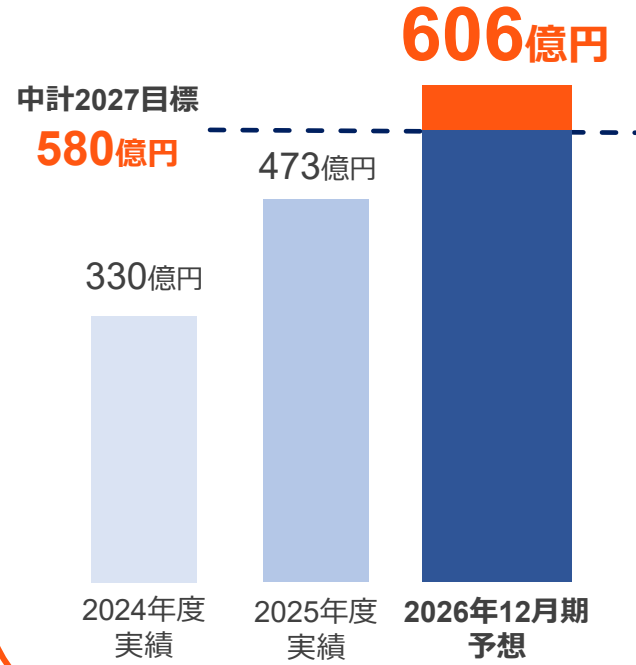
tok中期計画2027 定量目標の達成状況

2026年12月期業績予想において、営業利益・EBITDAはtok中期計画2027の最終年度目標を**前倒して達成**する見込み

売上高

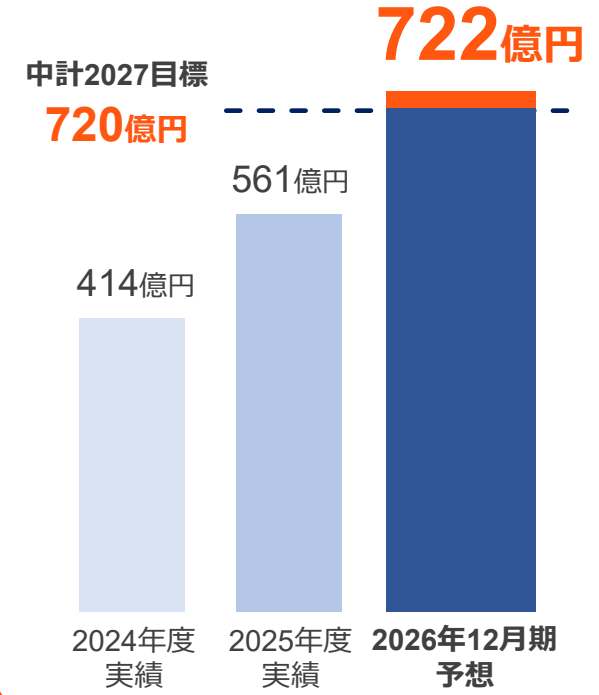


営業利益



目標値
+26億円

EBITDA



目標値
+2億円

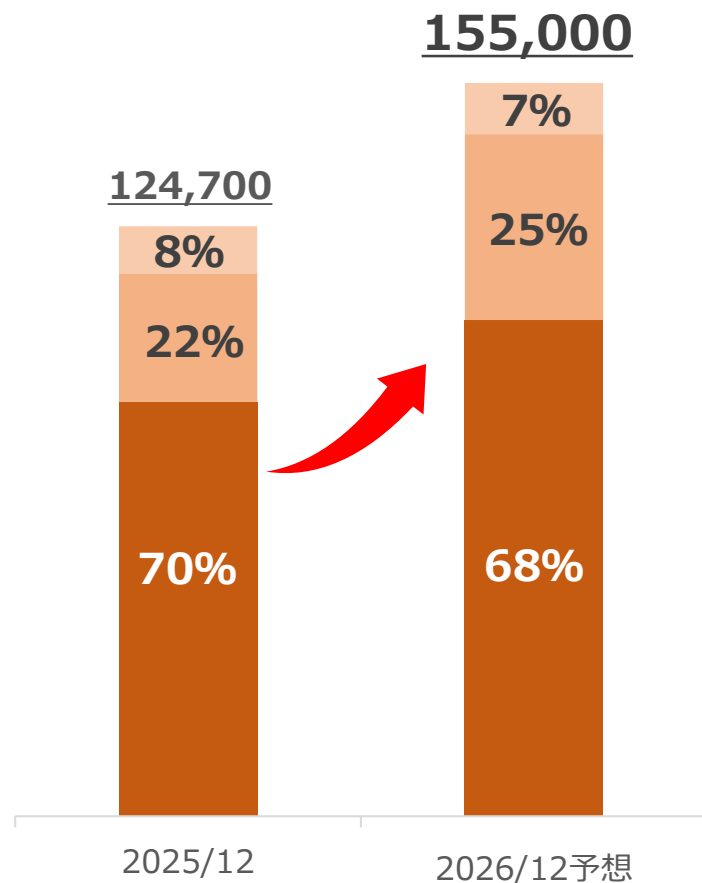
エレクトロニクス機能材料の種類別売上予想

10

売上高（百万円）

通期YoY +24.3%

増減率（前年比）



■ 半導体前工程用フォトレジスト +20%

先端材料（EUV・ArFレジスト） +25%

KrFレジスト +20%

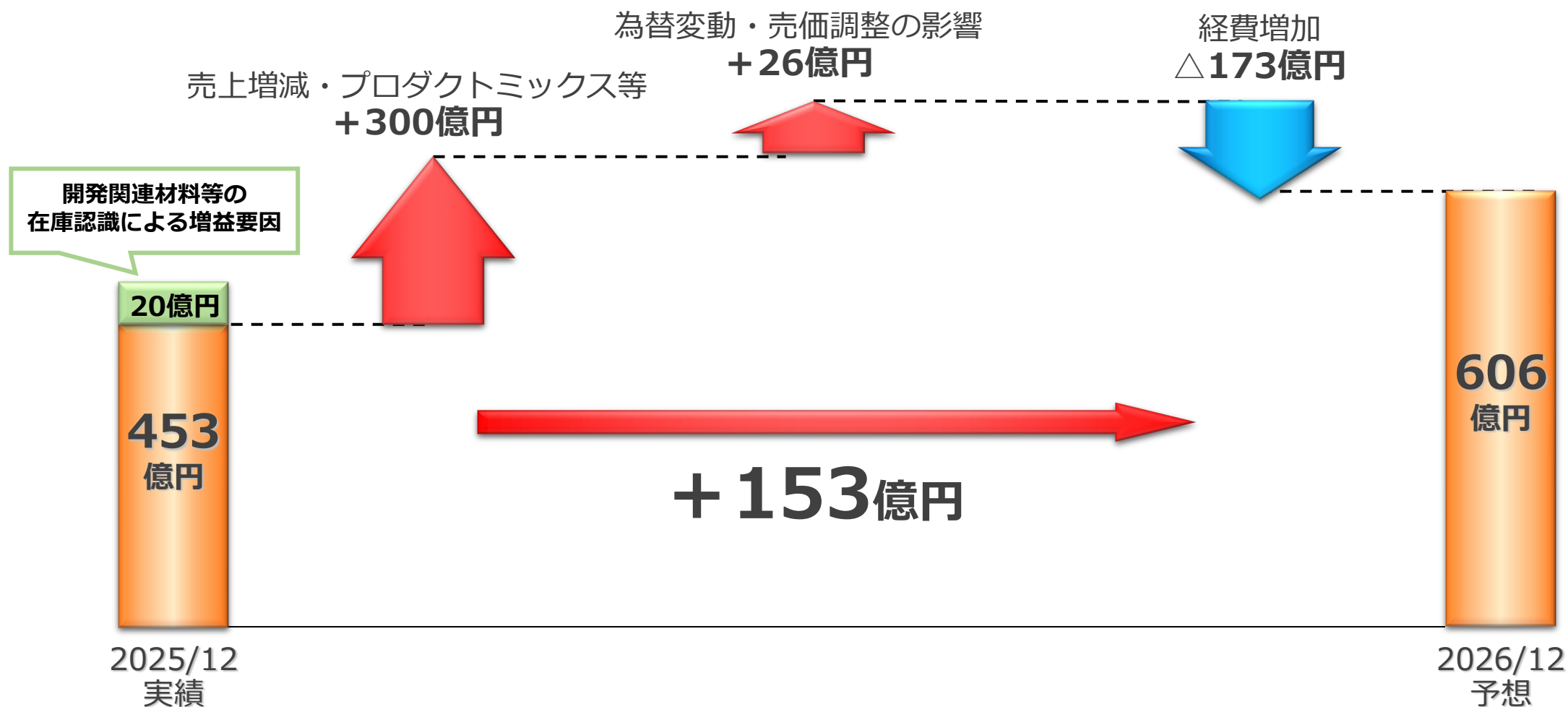
レガシー材料（g線・i線レジスト） +10%

■ 半導体後工程関連材料 +45%

（パッケージ材料・MEMS材料・WHS材料）

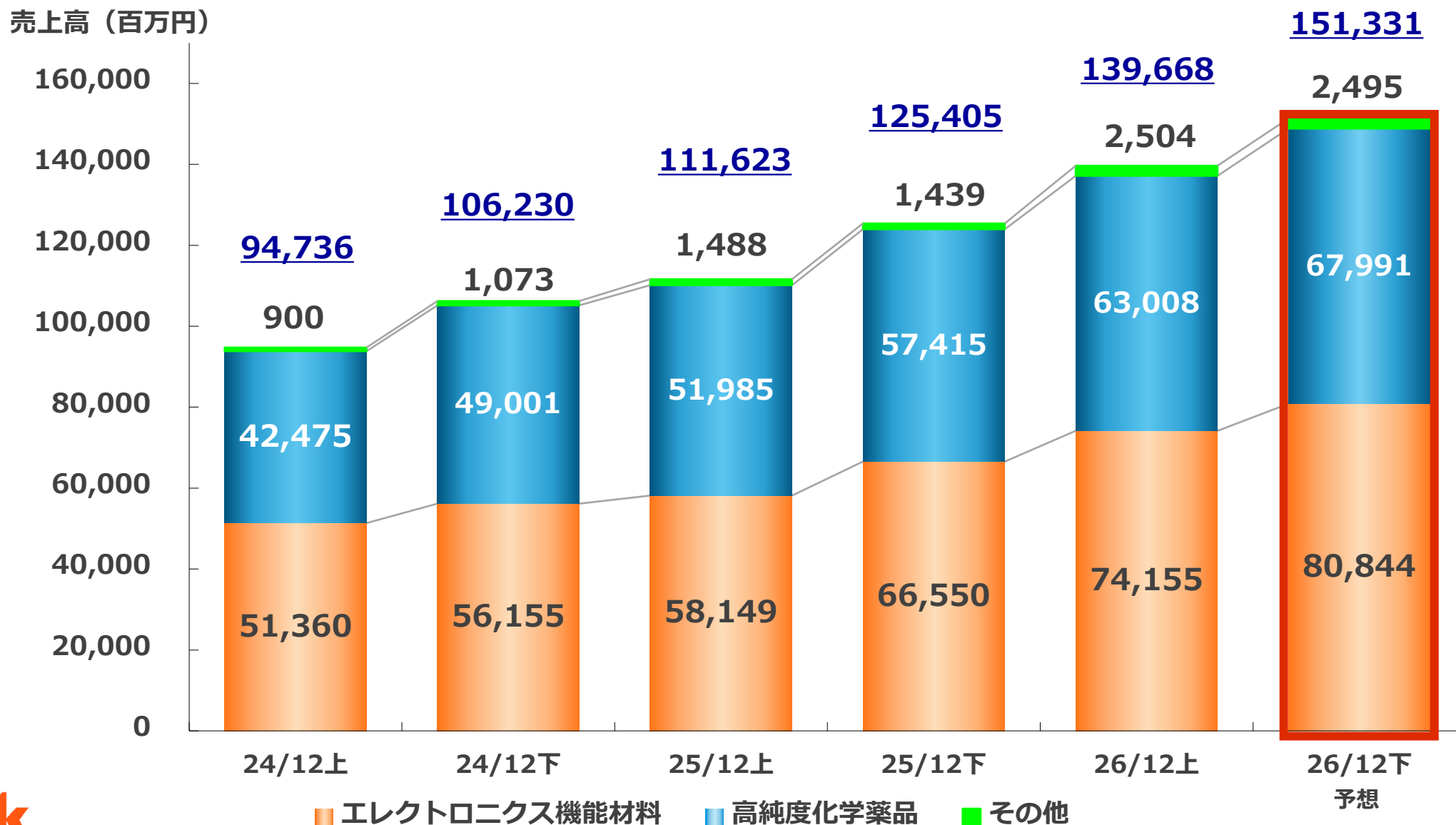
■ ディ스플레이材料・その他 +10%

2025年12月期実績 対 2026年12月期予想



売上予想：部門別

12



(百万円、%)

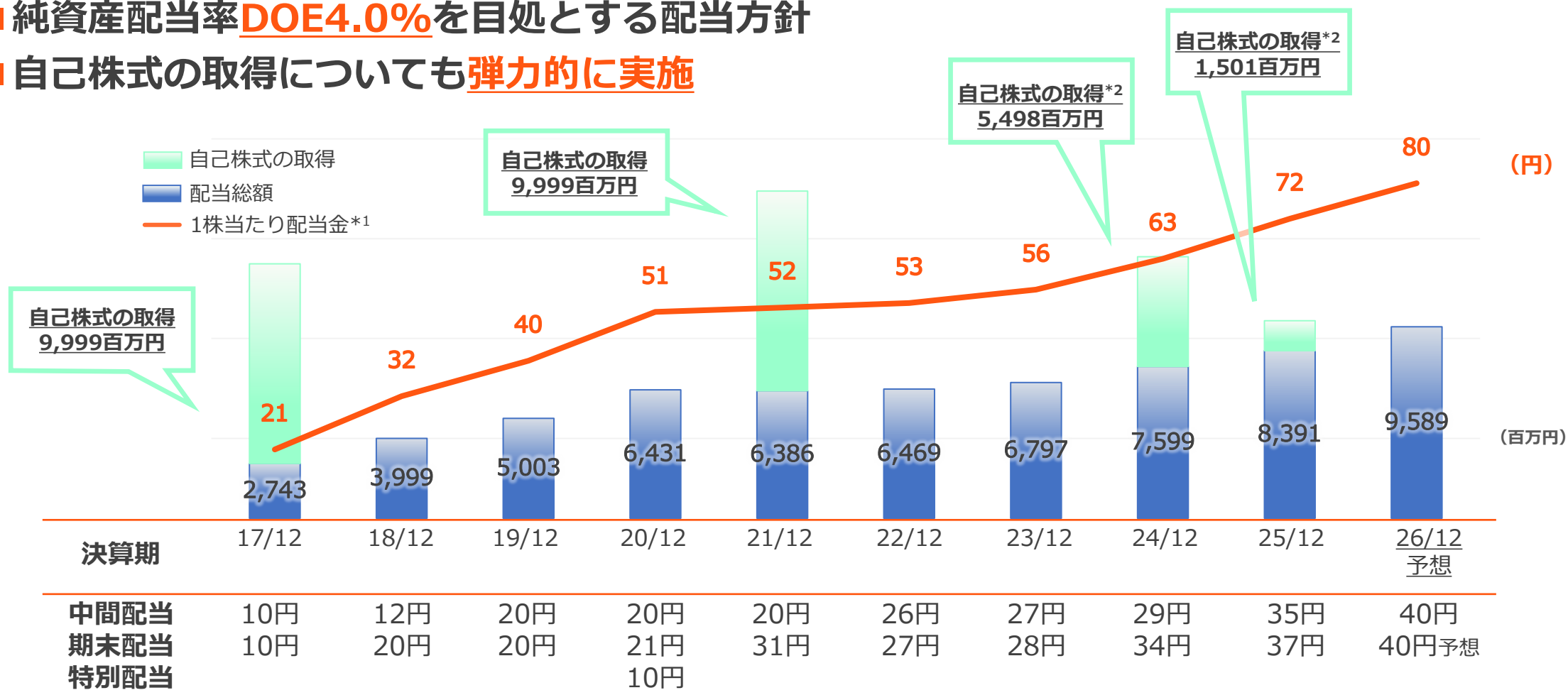
	2025/6	2026/6	期初計画 進捗率(%)	2025/12	2026/12		
	実績	実績		実績	修正計画	前年比	期初計画
設備投資等	15,290	15,024	42.0	28,723	35,600	+6,876	35,800
減価償却費等※	4,147	5,454	48.2	8,807	11,600	+2,792	11,300
研究開発費	7,741	9,259	50.9	15,673	19,200	+3,526	18,200

※減価償却費にのれん償却費を含む。

株主還元 <tok Vision 2030を実現する強固な経営基盤の構築>

14

- 純資産配当率 **DOE4.0%** を目処とする配当方針
- 自己株式の取得についても **弾力的に実施**



配当政策
数値基準

tok中期計画2018
～配当性向40%以上～

tok中期計画2021
～DOE3.5%を基準～

tok中期計画2024
～DOE4.0%を基準～

tok中期計画2027
～DOE4.0%を基準～

tok

2024年1月1日付(効力発生日)で1株を3株に株式分割を実施

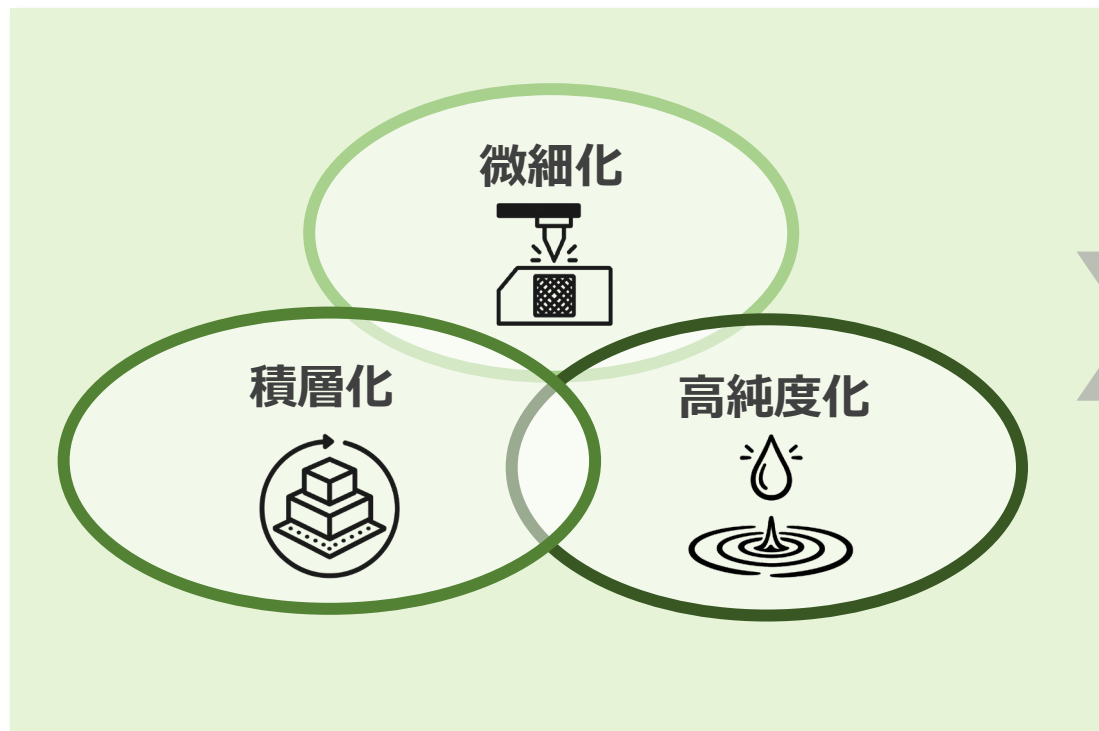
*1 2023年12月期以前は株式分割後換算1円未満は切り捨てて算出しています

*2 取得期間：2024年11月13日～2025年1月30日

©TOKYO OHKA KOGYO CO.,LTD.

企業価値向上に向けた成長戦略

半導体の進化軸



AIによる産業革命によって、
今後AIは社会インフラとして機能

データセンター

クラウド処理
CPU / GPU / NAND



ex 生成AI

エッジ

現場処理（リアルタイム）
センサー / CPU / パワー半導体



ex フィジカルAI

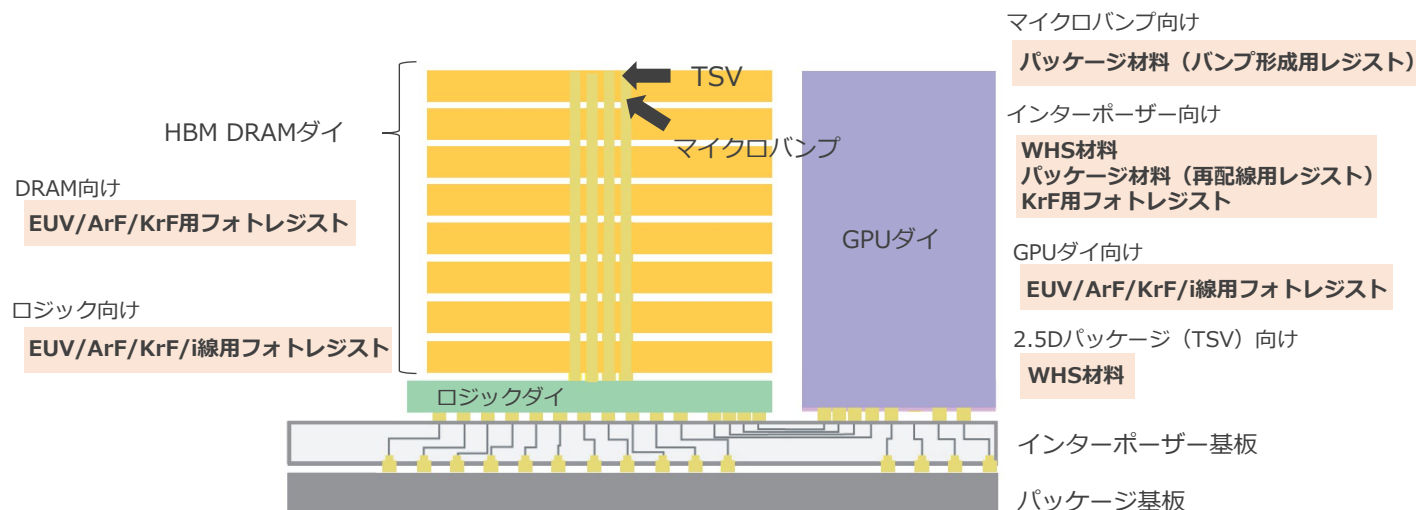


AI処理の高度化によって

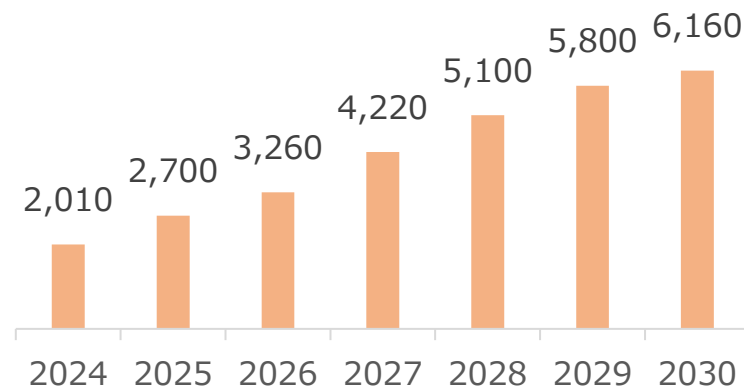
多様な半導体材料のニーズ増

AI需要で広がるTOK製品の活躍領域

生成AI用GPUとTOK製品の使用例



AIサーバーの市場動向 (単位：千台)



出典：富士キメラ総研「2026 先端/注目半導体関連市場の現状と将来展望」

半導体前工程用フォトレジスト

- ・最先端分野でシェア拡大
- ・各種次世代EUVレジストの開発、技術ポートフォリオの拡大

半導体後工程関連材料

- ・2.5DパッケージやHBM向けで販売伸長
- ・WHS材料の適用デバイス拡大

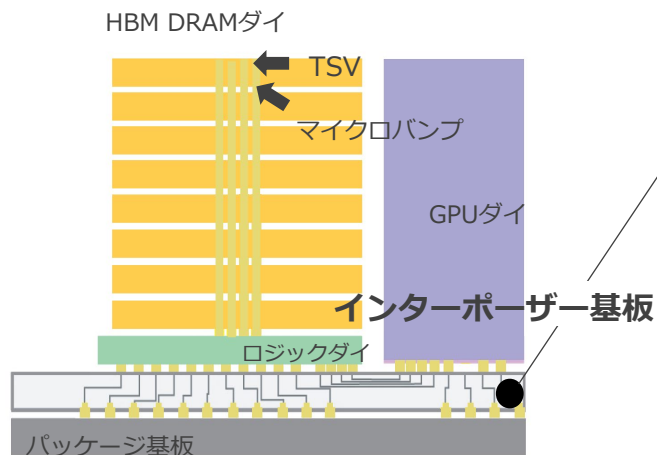
高純度化学薬品

- ・顧客新工場建設により販売伸長
- ・先端プロセス向けのシェア拡大

WHS材料 (Wafer Handling System)

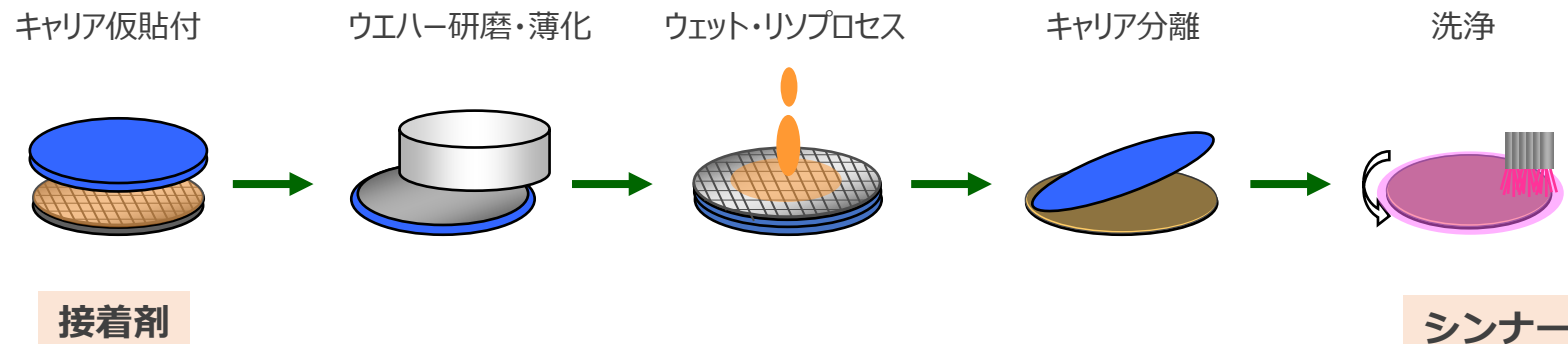
18

生成AI用GPU



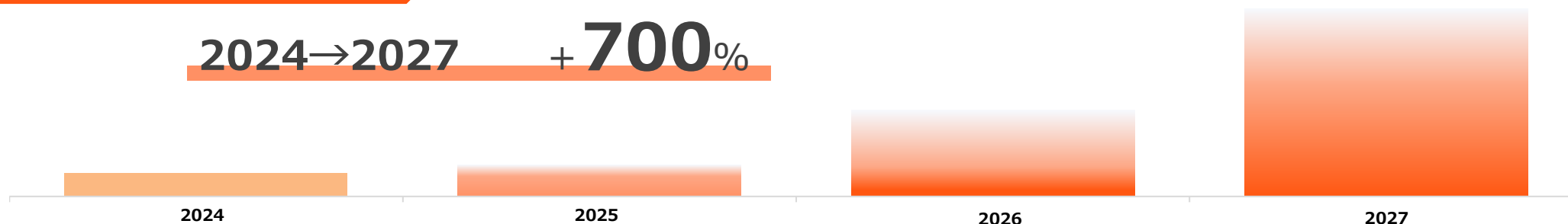
WHS材料の使用フロー

WHS材料：仮止め接着剤および洗浄用のシンナー等



WHS材料 売上高成長率（予想）

2024→2027 +700%



製造資本の強化によるキャッシュ創出力拡大

19

2030年までのEBITDA推移イメージ

TOK先端材料株式会社/ 仁川工場（韓国）
新検査棟を建設
投資金額 約70億円



TOK/ 阿蘇工場 阿蘇くまもとサイト（日本）
高純度化学薬品の新たな製造拠点を建設
投資金額 約130億円



TOK/ 郡山工場（日本）
世界最大のフォトレジスト製造棟を建設
投資金額 約200億円以上



TOK/ 郡山工場（日本）
新工場用地取得
面積：90,794㎡
（郡山工場 165,764㎡）



TOK先端材料株式会社/ 平澤工場（韓国）
新工場を開設&高純度化学薬品製造棟を建設
投資金額 約120億円



実績
EBITDA
561億円

26/12上
稼働開始

26/12下

27/12上

予想
EBITDA
722億円

既存の設備+その他の投資が生むEBITDA

2025

2026

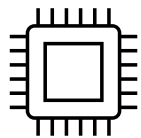
2030

tok

強固な経営基盤の構築

地政学リスクなど不確実性が高まる状況下においても高品質製品の安定供給を支える経営基盤を強化

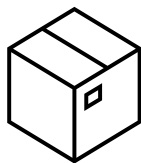
外部環境・リスク



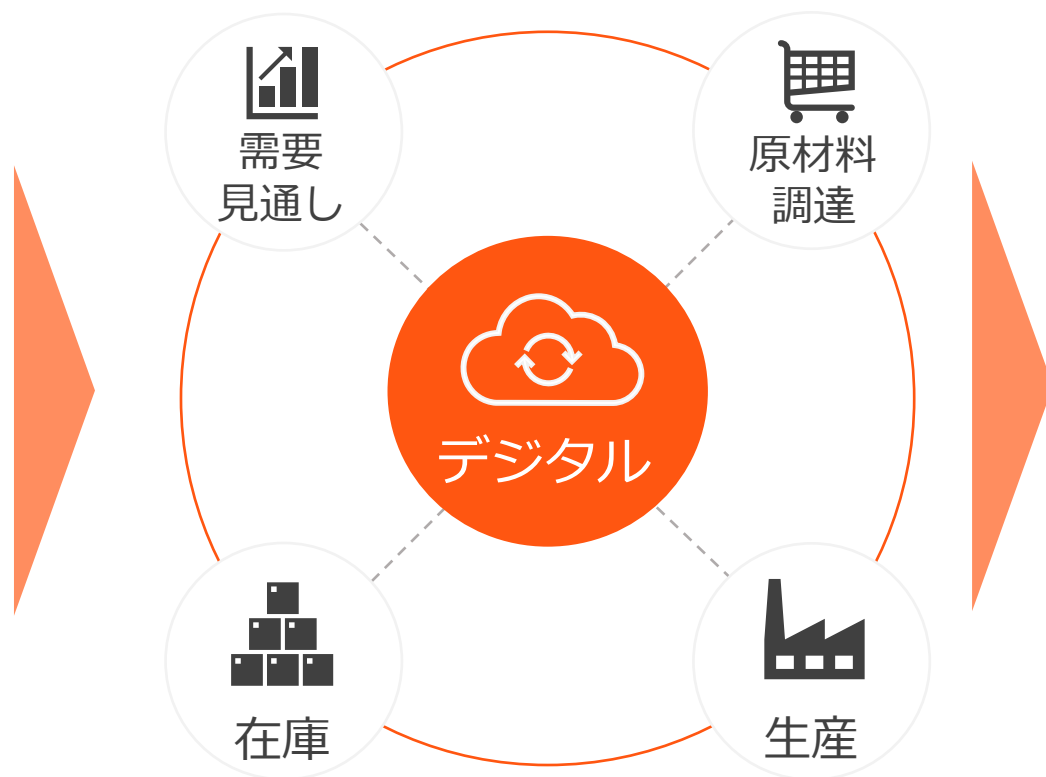
半導体需要の拡大



地政学リスク



原材料調達リスク



高品質製品の
安定供給を支える
経営基盤を強化

稼ぐ力の向上

従業員一人当たりの稼ぐ力は着実に増加

生産性向上

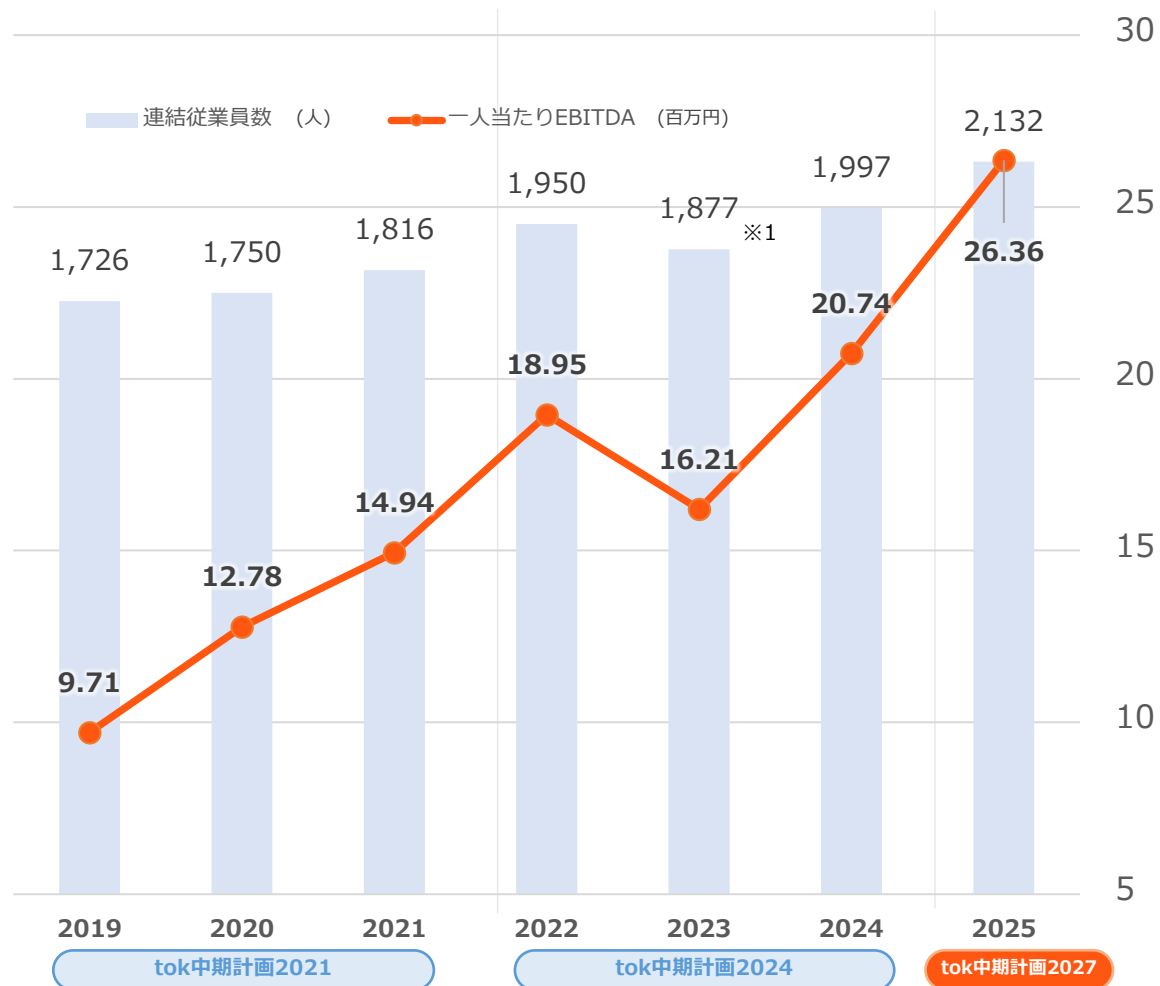
- ・生産工程における自動化の推進
- ・AI・デジタル施策の活用による品質安定化
- ・デジタル人財の育成

収益性向上

- ・高付加価値製品の販売拡充
- ・先端半導体向けニーズの獲得

人的資本投資

- ・従業員持株会制度を海外の現地従業員へも展開
- ・譲渡制限付き株式インセンティブを海外の現地従業員を含む対象者に付与
- ・表彰制度(TOK SHINKA AWARD)のグローバル化
- ・5年連続で5%超の賃上げを実施（2022～2026年）



※1 2023年の減少は海外連結子会社の再編等によるものです。

統合レポート

「統合レポート2026」では、東京応化の企業価値向上への取組みをあらゆる活動の**原動力**である「**人的資本**」への投資等にフォーカスすることで、当社グループの長期的かつ持続的な価値創造力をお伝えしています。



注目コンテンツ

- 3本部長ダイアログ
—企業価値向上をドライブする
“三位一体”の**顧客密着戦略**と東京応化ならではの“**資本**”—
- 特集 従業員×社外有識者ダイアログ
—自社の「**株主**になること」の意味とは？ —
私たちの仕事、幸福度（ウェルビーイング）、会社の未来
- 社外取締役ダイアログ
—さらなる企業価値向上に向けた課題認識と打ち手のイメージ—

統合レポート2026（最新号） | 東京応化工業株式会社



Appendix

比較貸借対照表

		(百万円)		主な内訳	
		2026/6	25/12末比		
流動資産		184,974	+12,200	工具器具備品	+3,373
現金預金		70,794	△168	機械装置及び車両運搬具	+1,405
売上債権		56,125	+7,479	建設仮勘定	△747
棚卸資産		48,274	+4,267	土地	△344
有形固定資産		119,868	+9,674	投資有価証券	+5,393
無形固定資産		3,884	+2,049	関係会社株式	△3,909
投資その他の資産		51,184	+694	長期預け金	△434
流動負債		64,140	+4,766	繰延税金資産	△234
買入債務		33,629	+4,085	設備関係未払金	△3,175
固定負債		34,787	+1,167	未払金	+2,069
純資産		260,983	+18,684	預り金	+401
総資産		359,911	+24,618	前受金	+381
				繰延税金負債	+1,311
				長期前受収益	△314
				長期リース債務	+142
				利益剰余金	+15,662
				その他有価証券評価差額金	+3,631
				非支配株主持分	△1,575
				為替換算調整勘定	+676

キャッシュフロー

(百万円)

	2025/6	2026/6
営業キャッシュフロー	+15,843	+21,636
税金等調整前当期純利益	+21,761	+31,529
減価償却費	+4,147	+5,341
売上債権の増減額（△は増加）	△1,310	△6,583
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,185	△4,069
仕入債務の増減額（△は減少）	+1,572	+3,447
法人税等支払額又は還付額（△は支払）	△6,149	△7,388
投資キャッシュフロー	△11,603	△16,707
財務キャッシュフロー	△2,578	△8,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,596	+735
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	+64	△2,678

主な内訳

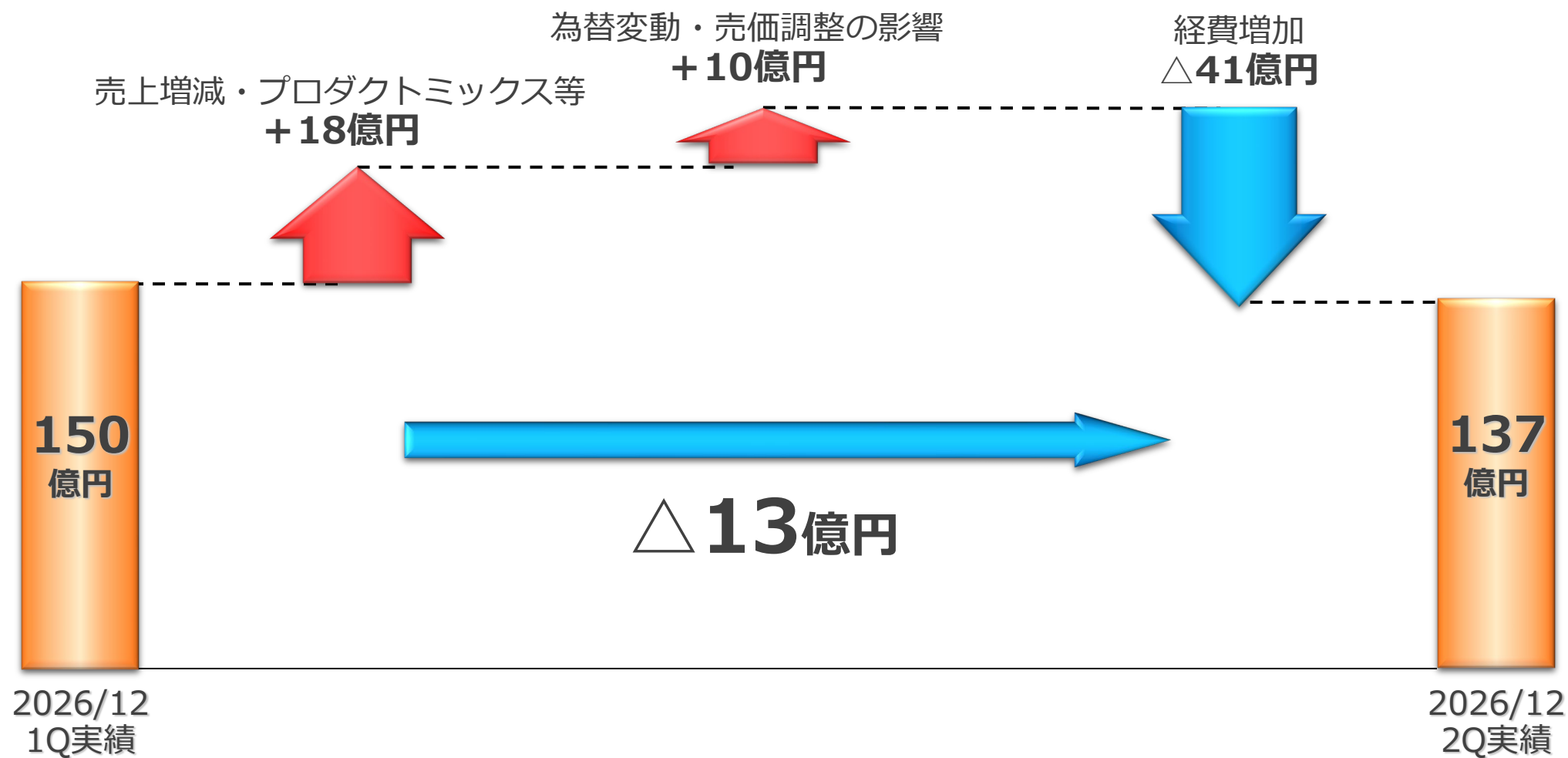
有形固定資産の取得による支出 △17,282
投資有価証券の売却による収入 +1,210

配当金の支払 △4,432
非支配株主への配当金の支払額 △3,389

営業利益の増減内訳

26

2026年12月期1Q実績 対 2026年12月期2Q実績



www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。